



第28回 「Introduction to subagents」
Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

サブエージェントとは何か

公式の教材を、順番に

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Introduction to subagents / What are subagents?

今回から4つめのコースに入ります。全4回のうちの第1回です

全51回の、今日はここ



原石工房

Claude Code 101

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

スキル

22 23 24 25 26 27

手分け (subagents)

28 29 30 31

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第1回～第12回

第13回～第21回

第22回～第27回

第28回～第31回

第32回～第40回

第41回～第51回

今日はここ 第28回



Introduction to subagents の第1回

原題 What are subagents?

訳 サブエージェントとは何か

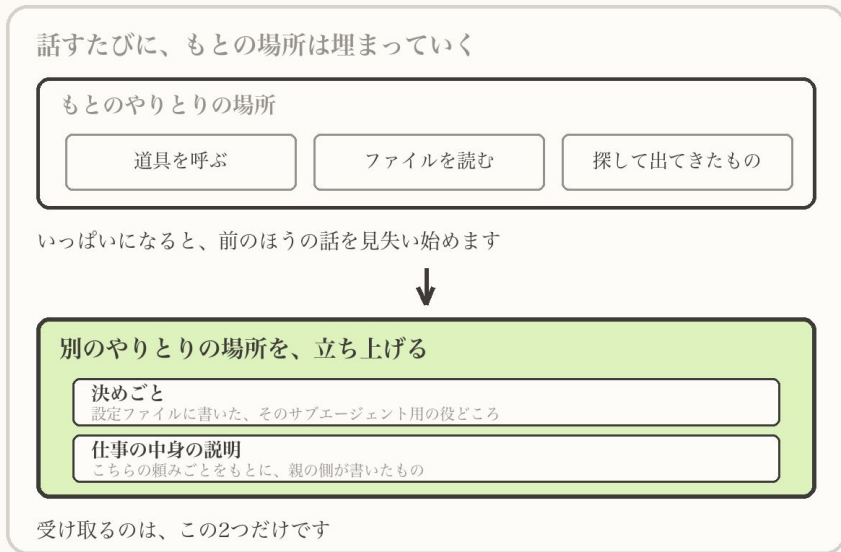
サブエージェントは、Claude Code が仕事を任せられる、専門の助っ人です

① なぜ効くのか



原石工房

原題 Why Subagents Matter



埋まる場所を、分ける

話すたびに、もとのやりとりの場所は埋まっていきます

いっぱいになると、Claude は前のほうの話を見失い始めます

サブエージェントは、別のやりとりの場所を立ち上げて、これを解きます

① 受け取るのは、2つだけ



原石工房

話すたびに、もとの場所は埋まっていく

もとのやりとりの場所

道具を呼ぶ

ファイルを読む

探して出てきたもの

いっぱいになると、前のほうの話を見失い始めます



別のやりとりの場所を、立ち上げる

決めごと

設定ファイルに書いた、そのサブエージェント用の役どころ

仕事の中身の説明

こちらの頼みごとをもとに、親の側が書いたもの

受け取るのは、この2つだけです

設定ファイルに書いた、そのサブエージェント用の決めごと

仕事の中身の説明。こちらの頼みごとをもとに、親の側が書いたもの

あとは自分だけで動きます。読み、探し、書き換えます

埋まる場所を、分ける

① 返ってくるのは、まとめだけ



原石工房

話すたびに、もとの場所は埋まっていく

もとのやりとりの場所

道具を呼ぶ

ファイルを読む

探して出てきたもの

いっぱいになると、前のほうの話を見失い始めます



別のやりとりの場所を、立ち上げる

決めごと

設定ファイルに書いた、そのサブエージェント用の役どころ

仕事の中身の説明

こちらの頼みごとをもとに、親の側が書いたもの

受け取るのは、この2つだけです

終わると、もとのやりとりへは「まとめ」だけが返ります

サブエージェントのやりとりは、そこで丸ごと捨てられます

引き換えに、どうやってそこへ行き着いたのかは見えなくなります

埋まる場所を、分ける

② 実際の例



原石工房

原題 A Practical Example

「払い戻しはどの仕組みが受け持っているのか」

使わないと

もとの場所が埋まる

ファイルを15個読む

何度も探し

呼び出しをたどる

使うと

もとの場所はきれい

Explore が自分の場所で掘る

返るのは、絞られた答え

15個のファイルは残らない

ほしかったのは、事実ひとつだけでした

引き換えに、どうやってそこへ行き着いたのかは見えなくなります

旅の雑音なしに、答えだけ

「払い戻しはどの仕組みが受け持っているのか」を知りたいとします

使わないと、ファイルを15個読み、何度も探し、呼び出しをたどります

ほしかったのは事実ひとつなのに、その全部が、もとの場所を埋めます

② 使うと、どうなるか



原石工房

「払い戻しはどの仕組みが受け持っているのか」

使わないと

もとの場所が埋まる

ファイルを15個読む

何度も探す

呼び出しをたどる

使うと

もとの場所はきれい

Explore が自分の場所で掘る

返るのは、絞られた答え

15個のファイルは残らない

ほしかったのは、事実ひとつだけでした

引き換えに、どうやってそこへ行き着いたのかは見えなくなります

Explore のサブエージェントが立ち上がり、自分の場所で掘ります

返ってくるのは、絞られた答えです

もとの場所に残るのは、尋ねたことと、そのまとめだけです

旅の雑音なしに、答えだけ

任せてから、返るまで



原石工房

もとのやりとり

こちらが尋ねる

親の側が、仕事の中身の説明を書く

サブエージェント

自分の場所で動く

読む・探す・書き換える。ここは丸ごと切り離されている

返ってくるもの

まとめ、1つだけ

やりとりの中身は、そこで捨てられる

もとの場所に残るもの

尋ねたことと、まとめ

途中で読んだ15個のファイルは、残らない

見えなくなるのは、途中だけ

③ もとから入っているもの



原題 Built-in Subagents

すぐ使える3つが、入っています

general purpose

何でも屋

調べることと、手を動かすことの両方が要る、何段もある仕事に

Explore

探す係

プログラムの山を、速く探して歩き回るために

Plan

計画する係

プラン モードのときに、計画を出す前に調べて考えるために

このほかに、自分で作ることもできます

探す係は、もう手元にある

general purpose 調べることと手を動かすことの両方が要る、何段もある仕事に

Explore プログラムの山を、速く探して歩き回るために

Plan プラン モードのときに、計画を出す前に調べて考えるために

④ 自分で作るサブエージェント



原石工房

原題 Custom Subagents

そのサブエージェント用の決めごとと、使わせる道具を、自分で決められます

自分の進め方に合わせた専門の担当を置けます

見直し役、テストを書く係、書類を作る係。そのほか、必要なものは何でも

⑤ 良いところは、3つ



原石工房

原題 Key Takeaways

良いところは、大きく3つ

絞られたかたまりに分けられる

1体ずつが、決まった仕事に集中できる

もとの場所が、きれいなまま

途中の手順が、全部切り離されるから

要る情報だけが返ってくる

短いまとめとして

もとの場所の雑音が少ないほど

長く、うまく、働ける

自分で作るときも、同じ良さが効く

仕事を、絞られたかたまりに分けられます

もとのやりとりの場所が、きれいなまま保たれます

要る情報だけが、短いまとめとして返ってきます

今回のまとめ



原石工房

サブエージェントは、自分だけの場所を持って動く、専門の助っ人

受け取るのは、決めごとと、仕事の中身の説明の2つ

返ってくるのは、まとめだけ。途中は丸ごと捨てられる

引き換えに、どうやってそこへ行き着いたのかは見えない

もともと3つ入っていて、自分でも作れる



Introduction to subagents の第2回

原題 Creating a subagent

訳 1体作る

自分のサブエージェントを、実際に1つ作ります

全51回の、29回目です

その雑音、本当に見たいものですか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く